

新旧対照表

No.	書類名	頁	大項目	中項目	小項目			旧	新(3月22日改定版)	修正事項
1	要求水準書	27	IV	2	(3)	1)	①	葬祭場棟及び回廊の一部の解体について、杭を残置するほか、基礎部分を残置の上、盛り土等による整地を行うことを可とする。	葬祭場棟及び回廊の一部の解体について、杭を残置するほか、基礎部分を残置の上、盛り土等による整地を行うことを可とする。 (歩行者用スロープ、葬祭場棟1階スラブを残置することを含む)	赤字部分追記
2	要求水準書	30	IV	6	(1)			既存施設を稼働しながら更新工事を行う計画としていることから、設備の配置、工事手順等を十分に考慮すること。なお、既設及び新設を問わず更新期間中は常時火葬炉7炉(人体炉6基、動物炉1基)が稼働可能となるような更新工程とし、現況建物本体及び各設備への影響や既存火葬炉の稼働に影響が出ないように配慮すること。	既存施設を稼働しながら更新工事を行う計画としていることから、設備の配置、工事手順等を十分に考慮すること。なお、 やむを得ない場合は、火葬炉の稼働休止や稼働可能な炉数の減少を認めるものとするが、可能な限り、既設及び新設を問わず更新期間中は常時火葬炉7炉(人体炉6基、動物炉1基)が稼働可能となるような更新工程とし、現況建物本体及び各設備への影響や既存火葬炉の稼働に影響が出ないように配慮すること。	赤字部分追記
3	資料17	4	04					「給排水衛生設備工事/火葬棟/地下式消火栓弁」	「給排水衛生設備工事/火葬棟/地下式消火栓弁」を見え消し線により削除。	見え消し線により削除